

必ず内線7472 で予約をしてから使用して下さい

BECKMAN TL-100 使用法

**真空ポンプが古くなっているため真空エラーが出やすくなっています。
使用前に15分以上電源を入れておくことをおすすめします。**

1. 本体ブレーカーをONにする。(パネル部の下)
2. 自動的に真空ポンプが入るので [DOOR] ボタンを押し、エアーを入れる。
エアーの入る音が止まったらドアノブを右に引っ張りドアを開ける。
(ドアを開けていない場合、数秒後に自動的に真空ポンプが入ります。)
3. バランスをとった試料を対称にローターにセット。
(専用エッペンチューブを使用する場合、使用する分だけ白いスペーサーを一緒に入れて下さい。)
4. ローターを遠心機の軸にのせ、ローターの蓋にあるボタンを押し込んでロックする。
5. ドアを閉めると、自動的に真空ポンプが入ります。
6. 遠心の条件をセット。
[SPEED] ボタンを押し、回転数を入力後、[ENTER/DISPLAY] を押す。
同様に [TIME]、[TEMP] もセットする。
7. 加速、減速の度合いをセット。
[ACCEL] ボタンを押し、数値入力後、[ENTER/DISPLAY] を押す。
(空白,0~9があり、数値が小さいほどよく加速します。)
同様に [DECEL] もセット。(加減速の度合いの詳細はマニュアル参照)
8. 表示パネルのVACランプが消えたらスタートできます。
[ENTER/DISPLAY] を押した後、[START] を押すと遠心が始まります。

遠心機停止後

9. [DOOR] ボタンを押し、エアーを入れる。
エアーの入る音が止まったらドアノブを右に引っ張りドアを開ける。
10. ローターの蓋にあるボタンを押すとボタンが出て、ロックが解除されるのでローターを取り出す。
11. 本体ブレーカーをOFFにした後、ドアを閉める。
12. 使用ノートを記入する。(1ラン毎に記入して下さい)

参考

TLA-100.3ローター (金色の蓋) 使用時

専用エッペンチューブ	<u>100,000g / 55,000rpm</u>	最大遠心力 170,000g / 70,000rpm
肉厚PCチューブ	<u>100,000g / 50,000rpm</u>	最大遠心力 410,000g / 100,000rpm

やってはいけないこと

試料のバランスをとらずに遠心してはいけない。
またはバランスはとったが対称にセットせず遠心してはいけない。
(バランスのくずれた状態で遠心するのは大変危険なので絶対しないで下さい。)

エッペンチューブ使用時にスパーサーを使わず遠心してはいけない。
(アンバランスになり遠心機が壊れます。やめて下さい。)

普通のエッペンチューブを使用してはいけない。
(チューブが遠心力に耐えられない可能性があるので使用しないで下さい。)

遠心機の軸にローターをロックしないまま遠心してはいけない。
(遠心中にローターが飛ぶのでやらないで下さい。)

ローターの蓋をとって遠心してはいけない。
(遠心機内は真空なのでできないと思いますがしないで下さい。)

ローターをつけずに遠心してはいけない。
(負荷のない状態ではモーターが焼けるので絶対やらないで下さい。)

ローターを軸にのせた後、ローターを揺らしてはいけない。
(されている方が多いです。軸が曲がったり折れたりするのでやめて下さい。)

遠心機内が真空のまま電源を切ってはいけない。
(真空ポンプのオイルが遠心機内にくるのでやめて下さい。)

使用ノートを記入せずに帰ってはいけない。